

# 新型コロナウイルス感染症にかかる 病床確保計画改定（案）

# 病床確保計画について

## ● 病床確保計画(令和2年7月10日策定・10月14日・令和3年3月10日改定)

- 一般医療との両立も踏まえ、感染状況に応じた病床の運用を図るため策定した計画。  
(宿泊療養施設確保計画含む)
- 各医療機関は、病床確保計画に基づき病床を運用。
  - ・フェーズ切替の際は、大阪府から各病院に通知。
    - ※フェーズ引き下げの際に伴う運用病床数の変更については、各医療機関において、入院状況や病床の可変運用への対応の可否を踏まえ、判断。

## ● 確保計画における最大設定病床数と確保病床数の推移

		7月10日	10月14日	3月10日
重症	設定病床数※1 (確保病床数※2)	215床 (188床)	215床 (191床)	221床 (221床)
軽症 中等症	設定病床数※1 (確保病床数※2)	1,400床 (1,065床)	1,400床 (1,094床)	1,800床 (1,759床)

※1：計画の最大フェーズの目標として設定した病床数 ※2：計画策定時に実際に確保していた病床数

- ・なお、重症病床は3月17日に**224**床を確保。4月初旬以降の医療機関への緊急要請により、4月13日から、**224**床を超え、最大**365**床運用（5月7日から9日まで）。

### ● 病床確保計画〈改定〉見直しのポイント

#### (1) 現在、病院において確保している病床の運用にかかる基準の設定

- フェーズ毎の確保病床数  
各病院のフェーズ毎の確保病床数の総数を基本に見直し
- フェーズ切替の移行基準  
第四波の感染拡大状況を踏まえ、判断基準を見直し

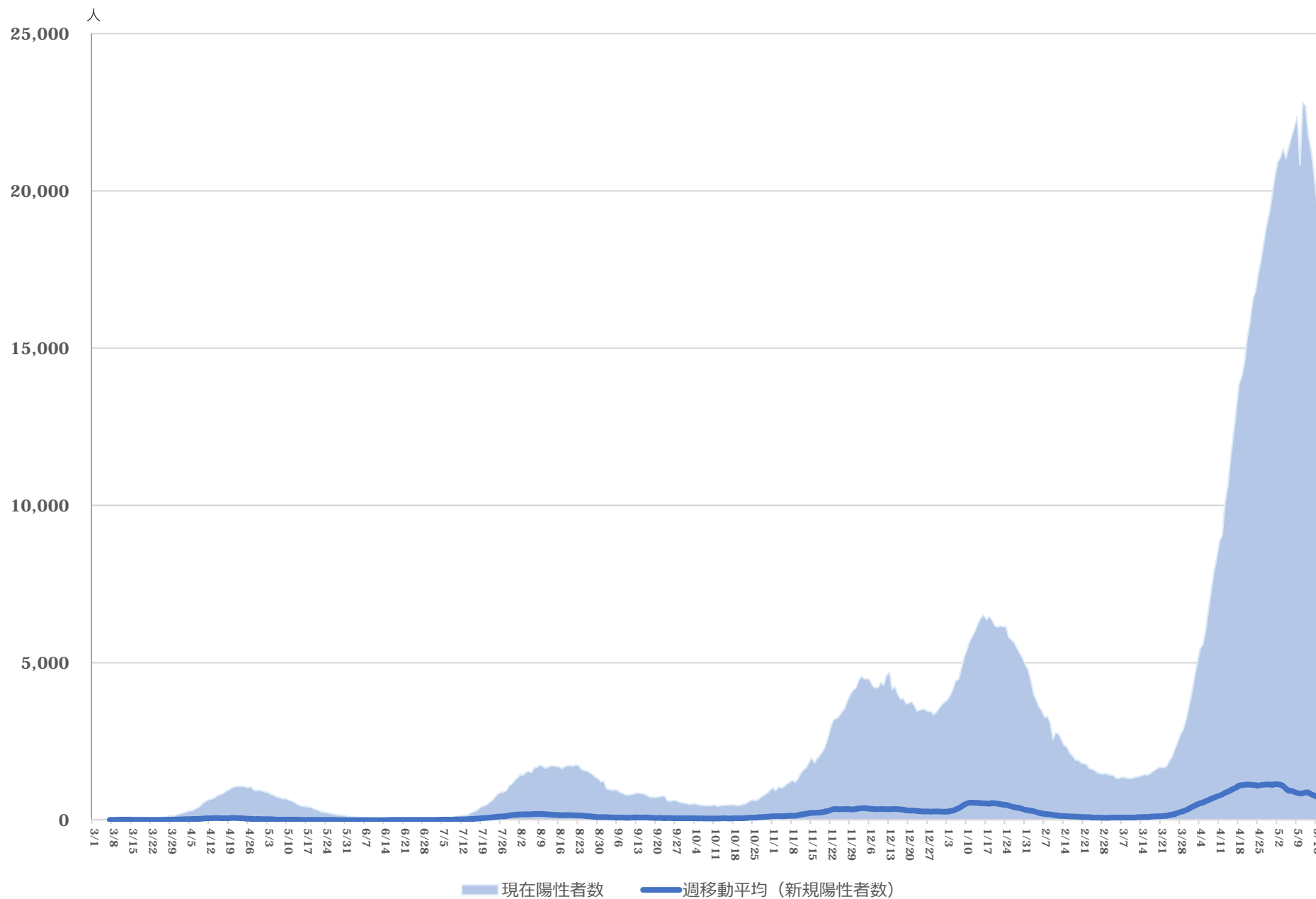
#### (2) 今後の感染急増時（災害級非常事態）に備え目標とする確保病床数の設定

第四波と同程度（最大療養者数約**22,000**人）か、それ以上に感染者が急増した場合（災害級非常事態）に備え、更なる病床確保に取り組む。

#### 〈目標病床数〉

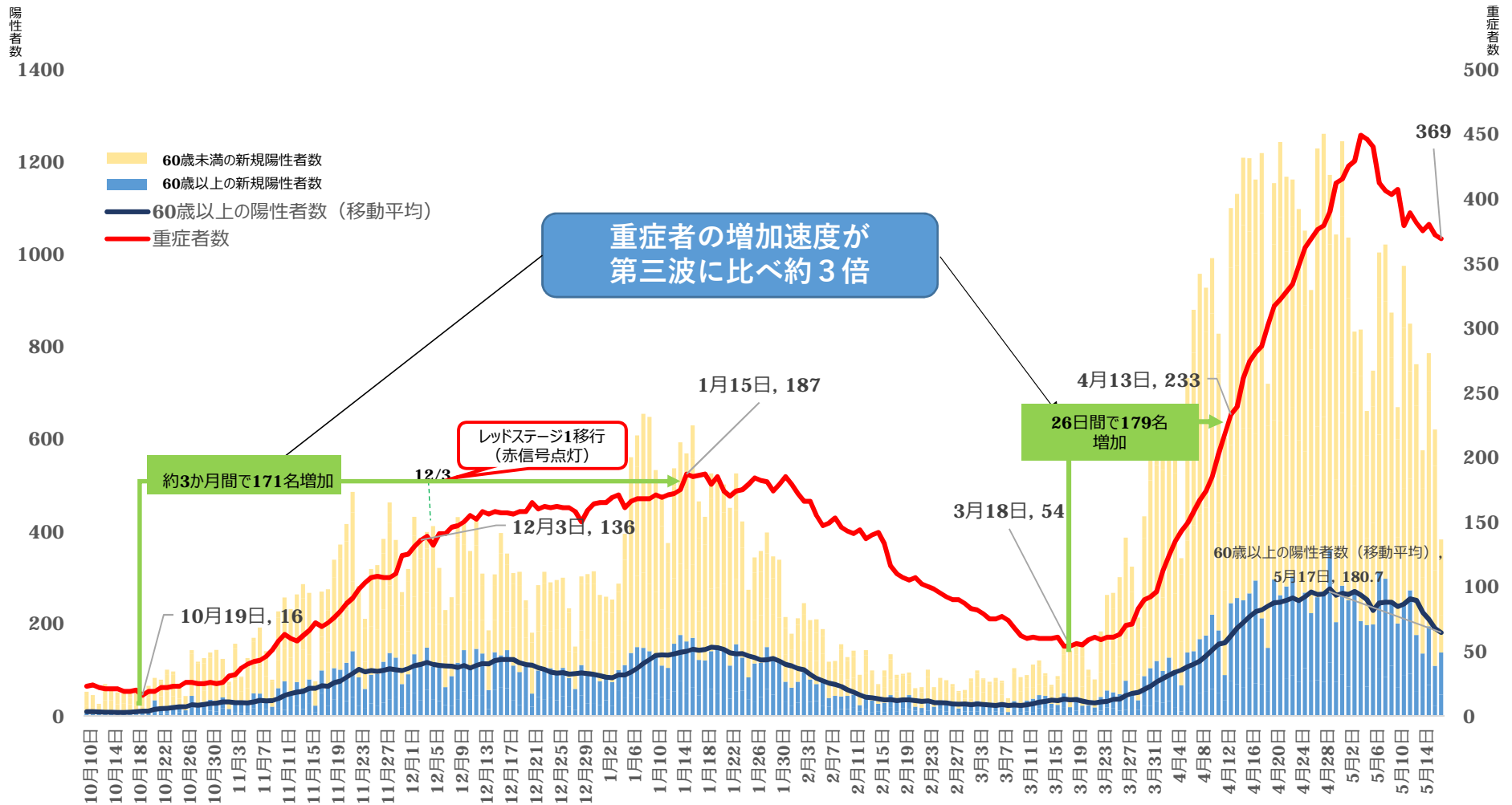
**3,500床（重症病床 500床、軽症中等症病床 3,000床）**

# 【参考】大阪府における感染者数（現在陽性者数）の推移

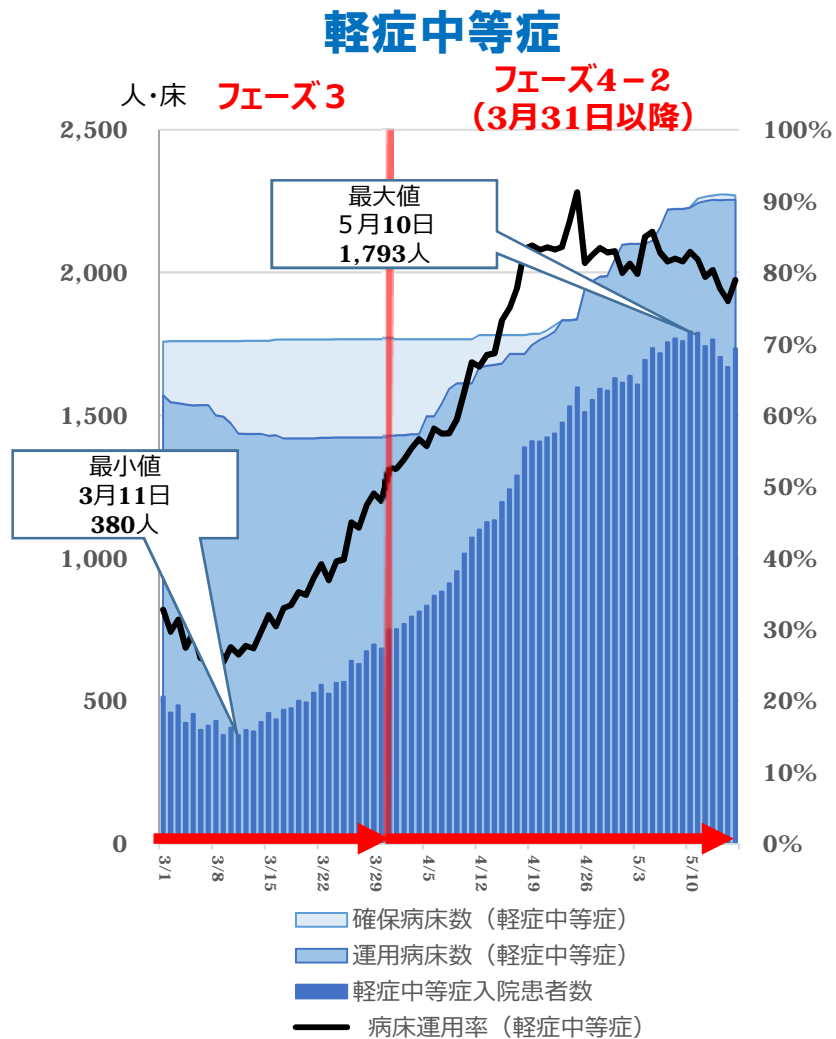
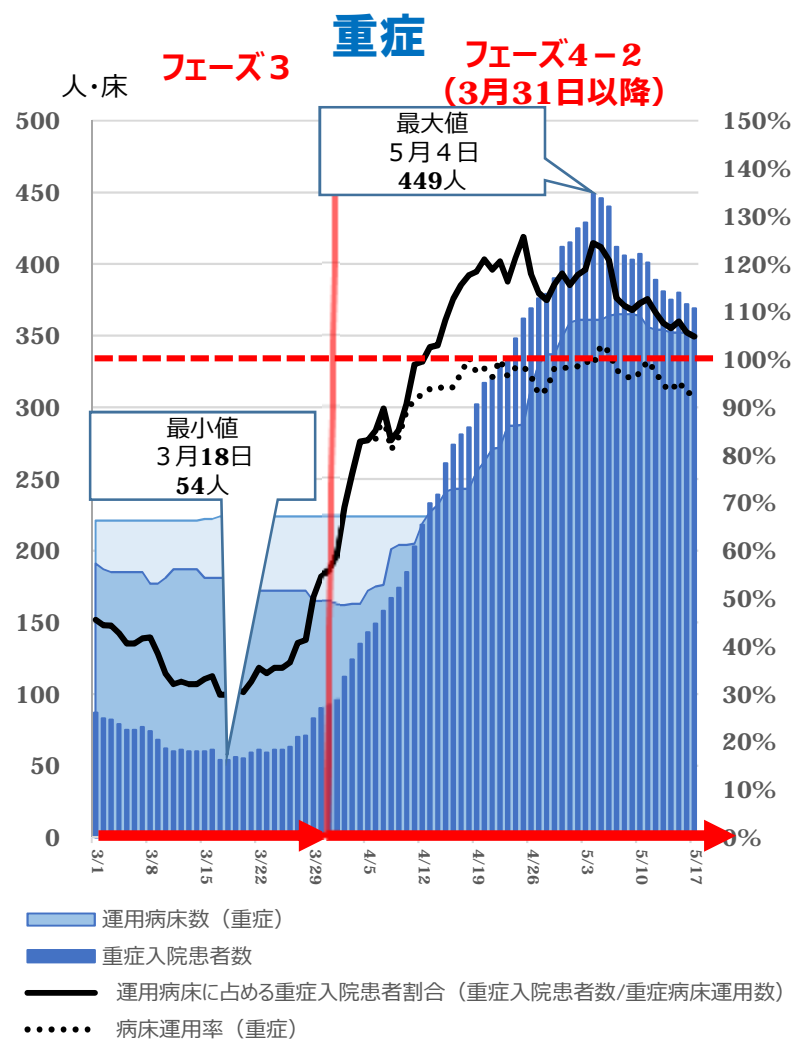


# 【参考】重症者数と60歳以上の陽性者数の推移

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6以降）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。



# 【参考】第四波における入院患者数と運用数病床の推移



## ○感染拡大時の入院患者数

	1週間当たり増加数の最大値 (前週の同曜日からの増加数)	1日当たり平均増加数 (前日からの増加数)	最小値から最大値までの 1日当たり増加数
重症	100人 (4月9日と4月16日の差)	14.3人	8.4人 (47日間で395人増加)
軽症中等症	316人 (4月11日と4月18日の差)	45.1人	23.6人 (60日間で1,413人増加)

## 【参考】第四波での病床運用の状況(令和3年3月1日～5月17日)

### ○フェーズ運用（フェーズ移行の要請日）状況

#### 【重症】

日付	運用病床数	入院患者数	移行要請内容等
3月1日	191床	87人	フェーズ4-2 ⇒フェーズ3(150床) 移行要請
3月31日	165床	92人	フェーズ3 ⇒フェーズ4-2(221床) 移行要請
4月8日※1	201床	167人※2	フェーズ4-2(221床)の病床9割運用
4月13日	227床	233人※2	フェーズ4-2(221床)以上運用開始

13日間

※1：令和2年10月14日改定の病床確保計画では、次フェーズ移行の病床準備に要する期間を「概ね1週間以内」としてフェーズの移行期間を設定

※2：軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症入院患者数含む

#### 【軽症中等症】

日付	運用病床数	入院患者数	移行要請内容等
3月1日	1,570床	514人	フェーズ4-2 ⇒フェーズ3(1,200床) 移行要請
3月31日	1,424床	745人	フェーズ3 ⇒フェーズ4-2(1,800床) 移行要請
4月15日※3	1,681床	1,196人※4	フェーズ4-2(1,800床)の病床9割運用
4月23日	1,832床	1,474人※4	フェーズ4-2(1,800床)以上運用開始

23日間

※3：令和2年10月14日改定の病床確保計画では、次フェーズ移行の病床準備に要する期間を「概ね2週間以内」としてフェーズの移行期間を設定

※4：軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症入院患者数含む

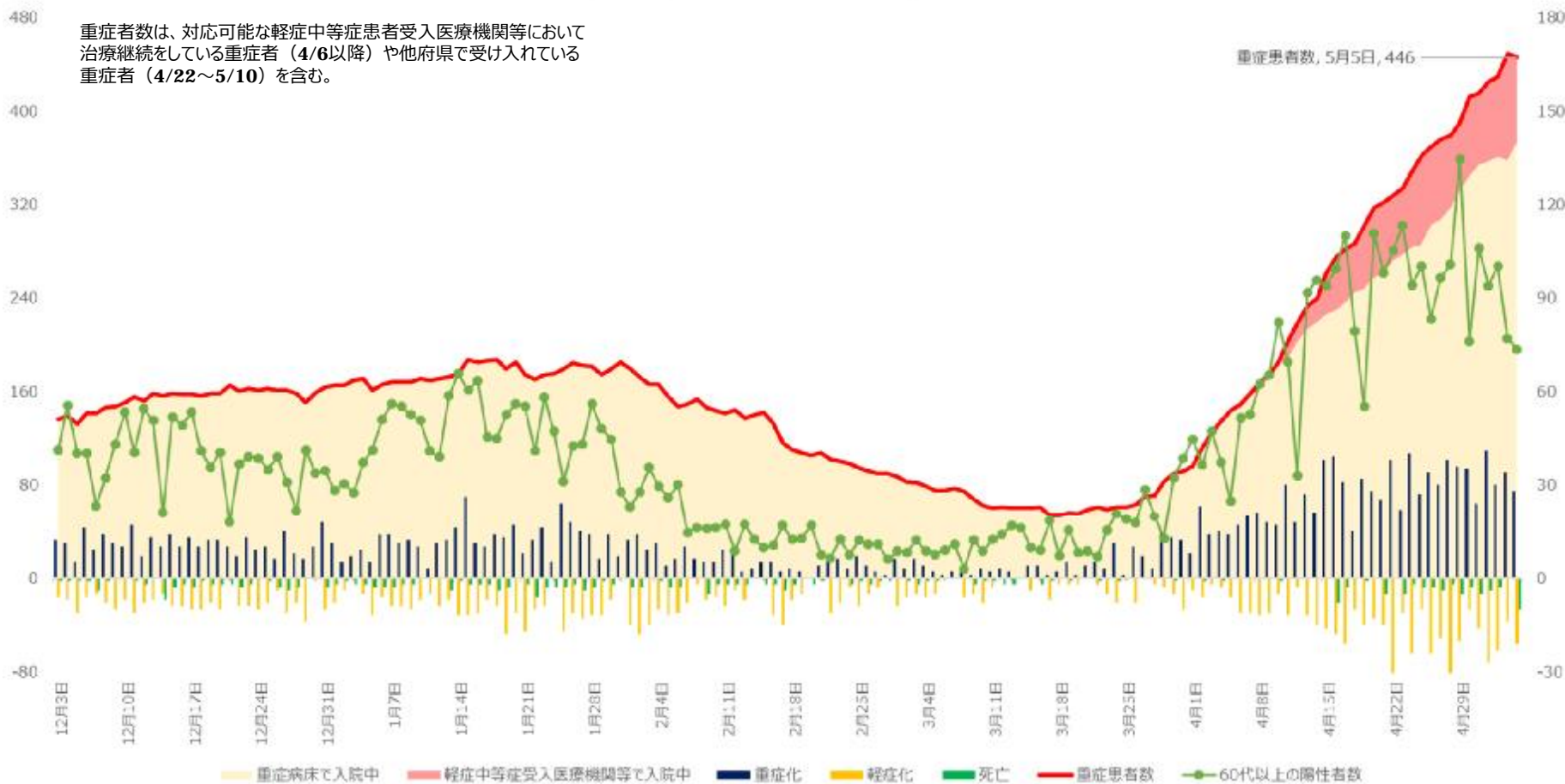
# 【参考】60代以上の新規陽性者数と重症者数の推移

60代以上の新規陽性者数と重症患者数

60代以上の新規陽性者数と重症患者数の推移（報道提供日ベース）

重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6以降）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

重症化・軽症化・死亡の人数





## ＜重症病床＞ 病床確保計画（改定案）

【（参考）令和3年3月10日改定（改定前）】

運用 フェーズ	病床数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況・病床運用率※から総合的に判断)
フェーズ1	75床	重症患者数およそ30人以上（確保病床数の40%以上）⇒フェーズ2移行準備
フェーズ2	110床	重症患者数およそ45人以上（確保病床数の40%以上）⇒フェーズ3移行準備
フェーズ3	150床	重症患者数およそ105人以上（確保病床数の70%以上）⇒フェーズ4移行準備
フェーズ4	180床	重症患者数およそ130人以上（確保病床数の70%以上）⇒フェーズ4-2移行準備
フェーズ4-2	221床	—

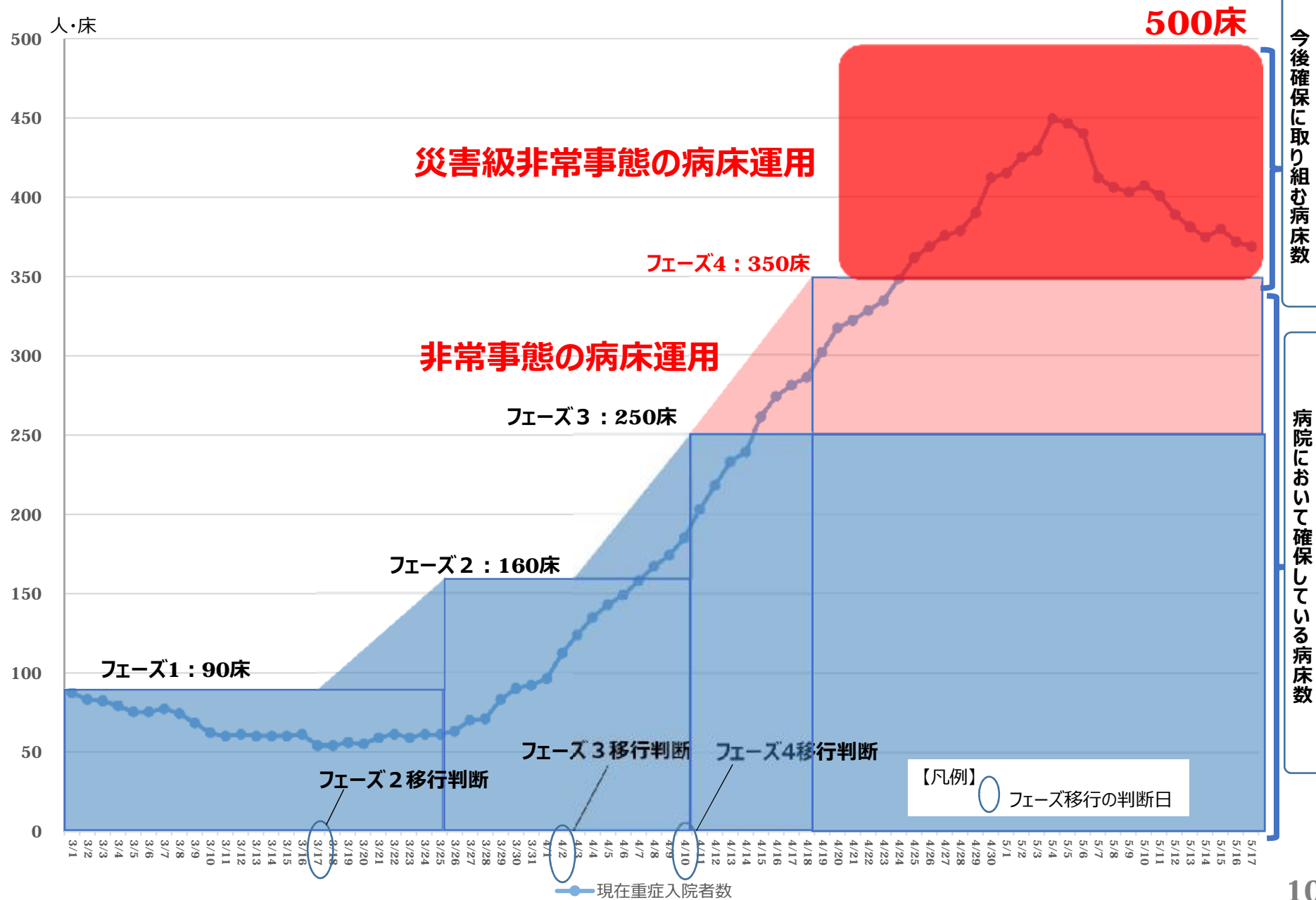
### 【改定案】

※病床運用率 = 重症患者数 / 実運用病床数

- フェーズ移行の準備期間を概ね1週間とし、移行基準を設定。第四波での実績から、感染拡大期に1日平均9人程度の入院患者数増の発生を見込み、確保病床数のおよそ60～70%以上で次フェーズ移行。
- 大阪コロナ重症センターについては、当面の間、感染収束期は5床から10床の運用とし、感染拡大に応じて最大30床まで運用。（フェーズ3、4の設定病床数には「大阪コロナ重症センター」30床含む）
- 第四波において、確保数（224床）を大幅に超える重症患者に対応するため、一般医療を制限の上（不急の予定入院・手術の延期、救急患者受入体制の重点化等）、最大確保365床を確保。そのため、365床と同程度の病床数を設定したフェーズ4は、一般医療への影響が大きいことが想定され、非常事態フェーズとして位置づけ。

運用 フェーズ	病床数	フェーズ移行の判断基準となる入院患者数 (ただし、今後の感染予測・病床運用率を踏まえ総合的に判断)	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ1	90床	およそ54人（病床数の60%）以上 ⇒フェーズ2移行準備	—
フェーズ2	160床	およそ112人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ3移行準備	およそ54人未満 ⇒フェーズ1移行準備
フェーズ3	250床	およそ175人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ4移行準備	およそ112人未満 ⇒フェーズ2移行準備
非常事態 (フェーズ4)	350床	—	およそ175人未満 ⇒フェーズ3移行準備
災害級 非常事態	500床 (目標)	—	—

# 【参考①】重症病床 改定後の計画により第四波に対応した場合



## 【参考②】重症病床のフェーズ3から4への移行の判断基準にかかる検証について

○計画改定案におけるフェーズ3から4への移行について、第四波と同等の入院患者数増加を踏まえた検証を実施

### 【計画改定案】

運用フェーズ	病床数	【感染拡大時】フェーズ移行の判断基準となる入院患者数
フェーズ3	250床	およそ175人（病床数の70%）以上→フェーズ4移行準備
フェーズ4	350床	-

### 【第四波における推移（シミュレーションに活用する数値）】

・検証において、病床数は3月31日のフェーズ移行（3→4-2）判断後の推移、入院患者数は第四波における増加推移を基にシミュレーションを実施

#### ・病床数の推移 4.8床/日（13日で+62床）

3月31日にフェーズ4-2への移行を判断 運用165床（基準150床）  
→4月13日に基準病床（224床）に到達 運用227床

#### ・入院患者数の推移 8.4人/日（47日で+395人）

最小値54人（3月18日）→ 最大値449人（5月4日）

### ▶検証の結果

病床数と入院患者数について、フェーズ4に設定する350床・350人への到達日数についてシミュレーションしたところ、病床数については、フェーズ4への移行を判断して16日目に350床に到達。一方、入院患者数が350人に到達するのは21日目との結果となった。

#### ・病床数 350床への到達は移行判断から16日目

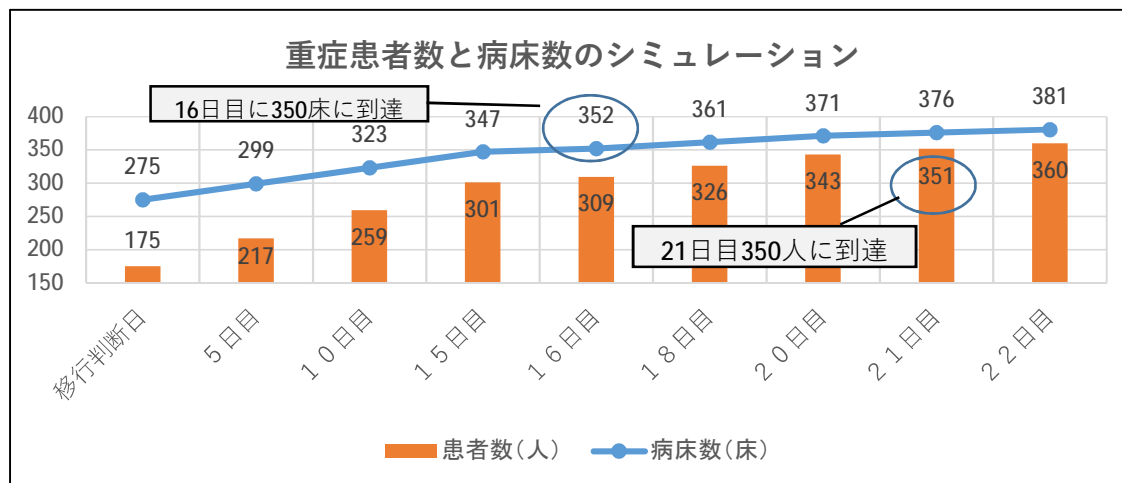
$16日 \div 75床 (350床 - 275床 (※)) \div 4.8床/日$

(※) = 250床 × 1.1（第四波の移行判断時の運用165床/基準150床）

#### ・入院患者数 350人への到達は移行判断から21日目

$21日 \div 175人 (350人 - 175人) \div 8.4人/日$

(参考) 第四波では、フェーズ4-2への移行判断基準が「患者数およそ105人以上」のところ、92人で移行を判断。



※感染収束時にフェーズ4→3への移行判断時の病症運用率（最少）：  
約50%（ $\div 174人 / 350床$ ）

## ＜軽症中等症病床＞ 病床確保計画（改定案）

【（参考）令和3年3月10日改定（改定前）】

	病床数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況・病床運用率※から総合的に判断)
フェーズ1	700床	軽症中等症患者数およそ280人以上（設定病床数の40%以上）⇒フェーズ2移行準備
フェーズ2	1,000床	軽症中等症患者およそ400人以上（設定病床数の40%以上）⇒フェーズ3移行準備
フェーズ3	1,200床	軽症中等症患者およそ840人以上（設定病床数の70%以上）⇒フェーズ4移行準備
フェーズ4	1,500床	軽症中等症患者およそ1,050人（設定病床数の70%以上）⇒フェーズ4-2移行準備
フェーズ4-2	1,800床	—

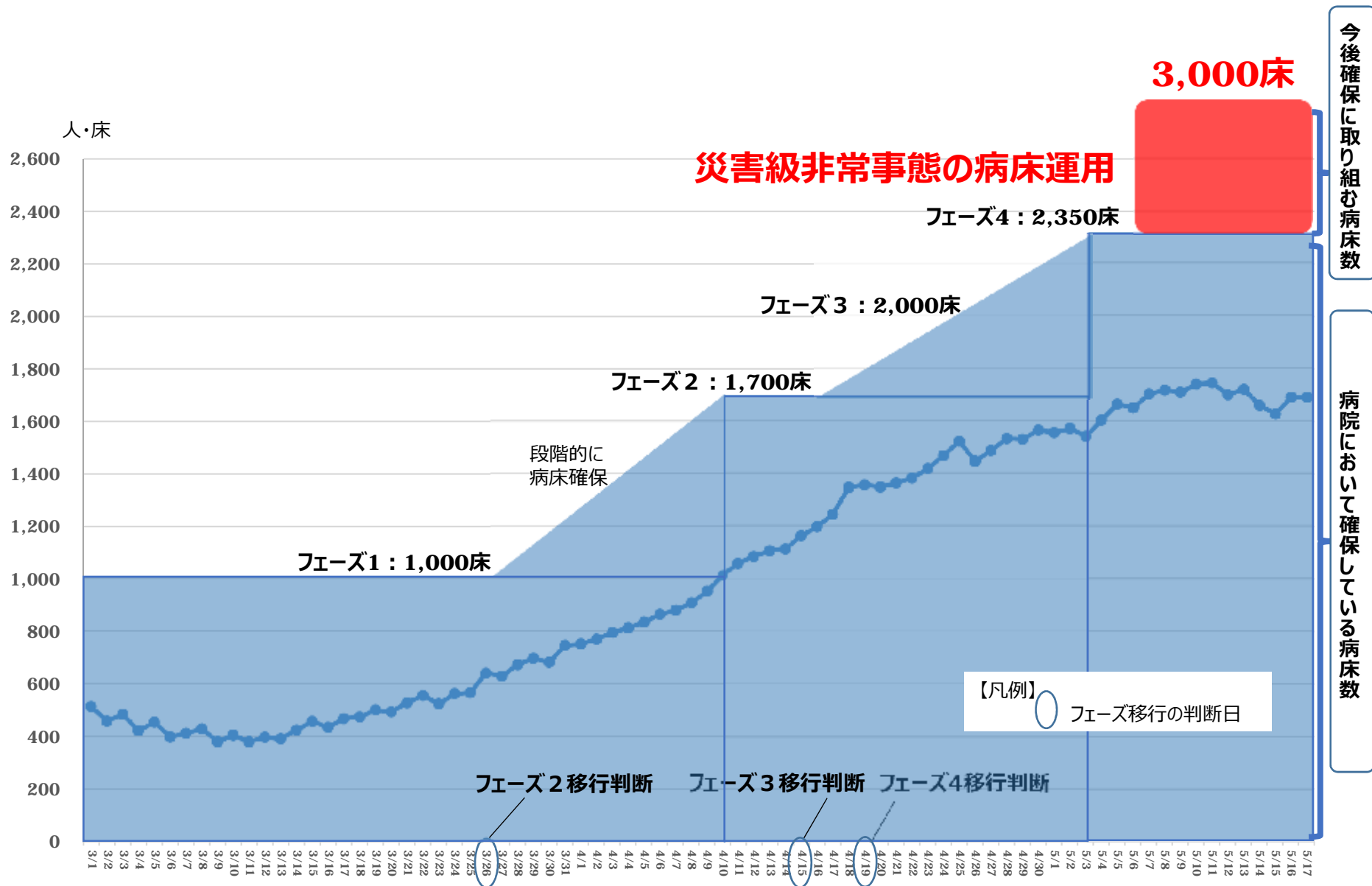
※病床使用率 = 軽症中等症入院患者数 / 設定病床数

### 【改定案】

- フェーズ移行の準備期間（概ね2週間）も踏まえ移行基準を設定。  
第四波での実績から、感染拡大期に1日平均24人程度の入院患者数増の発生を見込み、確保病床数のおよそ60～70%以上で次フェーズ移行。

運用 フェーズ	病床数	フェーズ移行の判断基準となる入院患者数 (ただし、 <b>今後の感染予測・病床運用率を踏まえ総合的に判断</b> )	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ1	1,000床	およそ600人（病床数の60%）以上 ⇒フェーズ2移行準備	—
フェーズ2	1,700床	およそ1,190人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ3移行準備	およそ600人未満 ⇒フェーズ1移行準備
フェーズ3	2,000床	およそ1,400人（病床数の70%）以上 ⇒フェーズ4移行準備	およそ1,190人未満 ⇒フェーズ2移行準備
フェーズ4	2,350床	—	およそ1,400人未満 ⇒フェーズ3移行準備
災害級 非常事態	3,000床 (目標)	—	—

# 【参考①】軽症中等症病床 改定後の計画により第四波に対応した場合



## 【参考②】軽症中等症病床のフェーズ3から4への移行の判断基準にかかる検証について

○計画改定案におけるフェーズ3から4への移行について、第四波と同等の入院患者数増加を踏まえた検証を実施

### 【計画改定案】

運用フェーズ	病床数	【感染拡大時】フェーズ移行の判断基準となる入院患者数
フェーズ3	2,000床	およそ1,400人（病床数の70%）以上→フェーズ4移行準備
フェーズ4	2,350床	-

### 【第四波における推移（シミュレーションに活用する数値）】

・検証において、病床数は3月31日のフェーズ移行（3→4-2）判断後の推移、入院患者数は第四波における増加推移を基にシミュレーションを実施

#### ・病床数の推移 17.7床/日（23日で+408床）

3月31日にフェーズ4-2への移行を判断 運用1,424床  
（基準1,200床）→4月23日に運用1,832床（基準1,800床）

#### ・入院患者数の推移 23.6人/日（60日で+1,413人）

最少値380人（3月11日）→最大値1,793人（5月10日）

### ▶検証の結果

病床数と入院患者数について、フェーズ4に設定する2,350床・2,350人への到達日数についてシミュレーションしたところ、病床数についてはフェーズ4への移行判断から9日目に2,350床に到達。一方、入院患者数が2,350人に到達するのは41日目との結果となった。

#### ・病床数 2,350床への到達 9日目

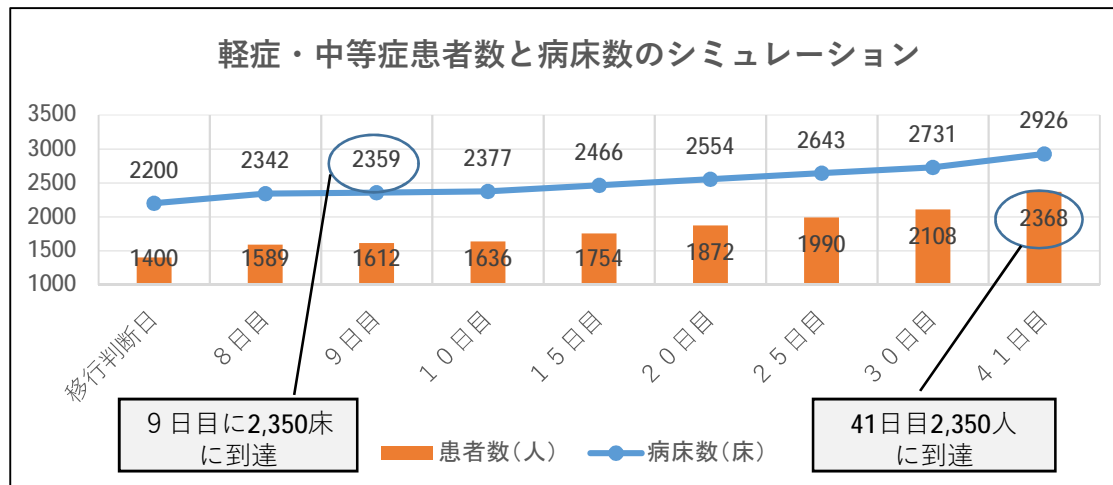
9日≒150床（2,350床-2,200床（※））÷17.7床/日

（※）=2,000床×1.1（重症病床シミュレーションと同じ率を採用：第四波の移行判断時の軽症中等症は、1.19倍（=運用1,424床/基準1,200床））

#### ・入院患者数 2,350人への到達 41日目

41日≒950人（2,350人-1,400人）÷23.6人/日

（参考）第四波では、フェーズ4-2への移行判断基準が「患者数およそ840人以上」のところ、745人で移行を判断。



※感染収束時のフェーズ4→3への移行判断時の  
病室運用率（最少）：  
約60%（≒1,399人/2,350床）

## 宿泊療養施設確保計画（改定案）

【（参考）令和3年3月10日改定（改定前）】

	部屋数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況から総合的に判断)
フェーズ1	800室	療養者がおよそ240人以上⇒フェーズ2移行準備
フェーズ2	1,600室	療養者がおよそ800人以上⇒フェーズ3移行準備
フェーズ3	2,400室	—

### 【改定案】

- 第四波での確保実績を踏まえ、部屋数等を設定。（療養者受入のためのホテルの準備期間は2週間程度）
- 宿泊施設については、その確保及び稼働に一定期間要することなど運用上様々な制約があるため、フェーズの移行については、療養者数の増加に対して早い段階での移行が必要。

運用 フェーズ	部屋数	次フェーズ移行の判断基準 (下記基準と感染拡大状況から総合的に判断)	
		感染拡大時	感染収束時
フェーズ1	800室	およそ240人以上 ⇒フェーズ2移行準備	—
フェーズ2	1,600室	およそ800人以上 ⇒フェーズ3移行準備	およそ240人未満 ⇒フェーズ1移行準備
フェーズ3	2,400室	およそ1,200以上 ⇒フェーズ4移行準備	およそ800人未満 ⇒フェーズ2移行準備
フェーズ4	4,000室	—	およそ1,200人未満 ⇒フェーズ3移行準備

# 【参考】宿泊療養施設 改定後の計画により第四波に対応した場合

